

# 静岡県第4次地震被害想定(第一次報告)の概要

(平成 25 年 6 月 27 日公表)

## 静岡県第4次地震被害想定とは...

静岡県が策定する県内における地震の被害の想定です。

沼津市をはじめ、県内各地での震度、津波高、浸水域、人的・物的被害などの推計結果等が示されています。

県による地震被害想定の方針は、平成 13 年に策定された第3次地震被害想定以来 12 年ぶりとなりました。

東日本大震災をはじめとする第3次地震被害想定以降に発生した地震・津波災害が残した教訓や蓄積された科学的知見を生かして策定されています。

この想定は、今後の地震津波対策の基礎資料として活用していきます。

## 公表スケジュール

	区分	内容
第一次報告 2013/6/27	自然現象	地震動、液状化、山・がけ崩れ、津波
	物的被害	建物被害、火災被害等
	人的被害	要因別死者数、負傷者数等
	被害・対応シナリオ	被害・対応シナリオ想定
第二次報告 2013年秋頃	物的・人的被害	各市町の町丁目単位での状況
	ライフライン、交通施設等の被害、経済被害	

## 対象となる地震・津波

駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震

区分	レベル1の地震・津波	レベル2の地震・津波
規模	発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波(約100年～150年周期で繰り返し発生する地震・津波)	発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波 (千年～数千年に一度、まれに発生する可能性がある巨大地震・津波)
想定対象地震	東海・東南海・南海地震の3連動地震 (1707年 宝永地震、1854年 安政東海地震、 想定東海地震) (マグニチュード8.0～8.7)	南海トラフ巨大地震 (マグニチュード9.0程度)

【参考:第3次地震被害想定の対象地震...東海地震(マグニチュード8)】

## 静岡県第3次地震被害想定との違い

第3次地震被害想定は、駿河湾を震源とする東海地震が単独で発生した場合について推計

第4次地震被害想定は、駿河トラフを含む南海トラフ沿いに発生する連動型の地震を対象として推計

## 沼津市の津波対策

今回示された第4次地震被害想定をもとに、沼津市内の自然現象や物的・人的被害の推計について分析を行い、減災に必要な対策を検討し新たな地震・津波対策アクションプランを策定します。

発生頻度は低いながらも、甚大な被害をもたらす地震・津波が発生する可能性を踏まえ、地震対策については全市域において、また津波対策については「津波避難訓練対象区域」を中心に、減災に向けて着実に進めていく方針です。